

評価基準
4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1. 教育理念・目標

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	2021(令和3年)度前期に取り組むべき課題等
瀬古	・教育理念等を明文化しているか。 ・教育理念等を教職員に対して周知徹底を図っているか。 ・教育理念等を公表しているか。	4	・本校パンフレットにて周知している。 ・Webサイトにて公表。入学者および保護者には入学ガイダンスにて周知している。 ・在校生・教職員には学生生活の手引きを配布している。	・特になし
	・教育目的・目標、教育計画が文書化され、提示されているか。	4	・2020年度の新入生より、新指定規則でスタートしている。 ・カリキュラム、シラバスを作成し、よりわかりやすい形で学生に提示している。 ・カリキュラムは、臨床実習施設にも配布した(しかし、臨床実習はすべて学内実習に移行した)。 ・シラバスは岩崎学園全体で共通のLMS(Learning Management System:学習管理システム;スタログ)で時間割と共に配信し、閲覧が可能。 ・アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーについて、HP上で公開した。	・新指定規則該当学年は1・2年生である。 ・COVID-19対応のため昨年度に引き続き、一部オンライン授業(実技系以外)を実施している。岩崎学園共通LMS(スタログ)を導入し、その中で時間割とシラバスの確認が可能となった。

2. 学校運営

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等
瀬古	・理事会、運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか。	4	・理事会、本校教務部会議・学科長会議・学科会議・グループリーダー会議・各業務会議・広報学生課会議、朝礼を開催。	・COVID-19の影響により在宅勤務者がいること、オンライン会議が併用されることなどから、教職員間のコミュニケーション不足によるトラブルを避けていきたい。
	・事業計画が定められているか。	4	・各業務毎に1年間の業務計画を定め、実行している。 ・各学年、各学科のリーダーにて、欠席率や退学率など数値目標を定め、目標達成に向け実行している。	・COVID-19による影響を鑑みながら、計画や目標に沿い、学校運営を行う。
	・予算・収支計画は有効かつ妥当であるか。	4	・予算の範囲内で運営できている。	・COVID-19の影響により、卒業式などのイベント関係が流動的であり、柔軟に対応していきたい。
	・就業規則等は定められているか。	4	・定められている。	・COVID-19の感染拡大状況により、柔軟に対応していきたい。
	・教職員一覧表(採用年、資格、年齢、学歴等記載)はあるか。	4	・学校基本調査に合わせ年に1回更新している。	・特になし
	・業務分掌は適切か。	4	・年度ごとに各業務担当(図書・備品、国家試験対策、学校行事、臨床実習、FD)を決定し、遂行している。 ・オンライン授業サポート業務が加わり一部の教員の負担が増えている。 ・感染症対応に伴い学生対応業務が増えている。	・業務の簡略化ができる部分を探索し、業務負担を軽減していく。
	・人事考課は制度化されているか。	4	・夏冬賞与時、年度末実施している。	・特になし
	・出退勤が適切に管理されているか。	4	・タイムカードまたは出勤簿、勤怠届を月次管理している。	・特になし
	・公印が管理されているか。	4	・「公印簿」に記載	・特になし
	・教職員の健康診断を実施しているか。	4	・2021年4月1日に実施した。	・特になし
・情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	・オンライン授業の開始に伴い岩崎学園独自の岩崎学園共通LMS(スタログ)が導入された。また、GoogleworkSpaceや岩崎学園独自のiポータルを利用し、学校からのお知らせが配信できる。 ・学生が学校のGmailアカウントを持っているため、教職員・学生間で連絡がとりやすくなった。	・岩崎学園共通LMS(スタログ)の課題整理と利便性の向上を図る。 ・デジタル化のメリット・デメリットを見極めながら、使用を模索する。	

3. 教育活動

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等
水島	・シラバスのとりまとめと学生への周知はできたか。 ・シラバスの活用方法について情報を収集し、検討したか。	4	・前期から継続しているオンライン授業では、G Suite for Education を活用し、従来のシラバスをclassroomに配信し、コロナ禍の中、登校状況に合わせて毎月の時間割と共に開示した。 ・配信時に、各科目担当教員や担任より学生への周知・活用を依頼した。 ・奨学金新制度に適應するようシラバス書式を一部改良したものを導入した。	・岩崎学園共通LMS(スタログ)として、スタログ上での公開を実施している。
	・育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4	・総単位PT134・OT131単位(指定規則101単位)。教育課程および授業時限数、学則は所管の神奈川県厚生労働局に提出済である。 ・2020年度新入生から、適用になる指定規則改定に対応する新カリキュラムを実施した。	・2年目としての新カリキュラムの実施状況を確認する。
	・カリキュラムは事前に学生に周知しているか。	4	・入学生には、前期に感染対策を実施しながら対面にて、オリエンテーションを実施し、説明を行った。	・2021年度も前期に実施済み。
	・カリキュラム作成に高校生の現状を反映させているか。	4	・学生募集イベント「体験入学」にて入学前の高校生に実施している模擬授業等から高校生の現状を把握している。 ・入学試験時の個別面接において、生活習慣、学習習慣、社会適応力などについて聴取し、必要なカリキュラム改定を実施している。 ・教職員2名が県立高校3校(横浜南陵・瀬谷・金沢総合高等学校)にて評議委員を務め実情を確認した。 ・令和3年度入学生の入学前教育プログラムを実施し、学習の受講状況について把握した。	・2021年度も同様に実施する。 ・COVID-19対応で、オンラインの導入など方法論を検討し、これまでと同様に高校生の現状を把握する。
	・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	・「学校関係者評価委員会」および「教育課程編成委員会」にて、情報を収集した。 ・関連分野の非常勤講師と意見交換を実施した。 ・オンラインや電話連絡の際に、卒業生の状況、学校への評価などについて随時聞き取り調査を実施している。	・2021年度も同様連携していく。 ・今後Webアンケートなどを行い、結果について分析する。
	・社会のニーズや学生の質に合わせたカリキュラムの見直しはできたか。	4	・5年ごとに実施される指定規則改定に向け、新カリキュラムにて運営している学年(2020年度1年生)から情報収集を行っている。	・指定規則改定にあわせて、社会のニーズや学生の質にあわせた新しいカリキュラムの内容について検討する。
	・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	・シラバスに記載・学生へ周知している。	・特になし
教	・教員の採用について、専門性確保の観点から基準が設けられているか。	4	・学歴、業務経験等、担当科目により基準を設けて取り組めた。	・引き続きの方針で実施する。
	・授業スキルの向上のため、校内職員研修会を充実させ、組織として「確かな学力」、「考える力」を育成するための授業づくりを推進し、学生への指導スキルの向上を目指したか。 ・学生による授業評価(授業アンケート)の結果において、授業に対する積極性の向上は見られたか。 ・授業アンケート結果を受け授業の見直しを行ったか。 ・授業アンケートの活用方法について情報収集を行ったか。 ・教員の外部講習会への参加がみられたか。	4	・担当者がシラバスを確認し、記載のバラツキをなくした。 ・授業アンケートはGoogleForms使用し、オンライン授業(オンデマンド)について項目を追加実施した。後期回答率は97.1%(94.4%~100%)であった。集計は、各学年・学科にて行い、各担当から結果のフィードバックも行われた。 ・進研ゼミから講師を招き、基礎カリサーチ(2回目)の結果報告会を実施した。 ・外部講習会はコロナ禍にて中止またはWeb開催となった。Web開催については、参加を促した。	・授業アンケートは、2021年度も引き続き実施し、担当講師へのフィードバックを行う。前期は5/17~28に実施予定である。 ・外部講習会は、Web開催を含め可能な場合は、参加を勧める。

田中	育力向上	・教員の指導力向上のための研修会の開催や外部機関での研修参加を促進することができたか。	3	・COVID-19にて、対面の学会・研修会等は軒並み中止され、一部Web開催に変更になった。そのため、参加は例年に比して少ない。	・研修会・学会については、引き続き、参加や発表を促し、必要に応じて報告会を実施する。
		・非常勤講師との定期的な情報の共有を図っているか。	4	・年度替わりに次年度の「教務のしおり」を郵送し、確認をお願いしている。また、個々の教員が自分の教科の関連や担任として、非常勤講師との情報交換を実施している。 ・非常勤講師のオンライン授業に教職員がアシスタントとしてつき、ZOOM配信やリアクションペーパーの配信等を行い、情報共有を図った。	・2021年度も積極的な情報交換を行う。 ・前期は対面とオンラインを並行して実施するため、必要に応じて非常勤講師のオンライン授業を教職員が引き続きサポートする。
		・担任業務サポート業務のマニュアル化において、昨年度作成したマニュアルの検証を行ったか。 ・そのマニュアルに調整を加え次年度の本実施に向けたものが完成したか。	4	・概ね実施された。 ・GoogleFormsを使用した授業アンケートについては、作成や配信方法等マニュアル作成を行った。	・適宜マニュアルの見直しや作成を行い、より良い活動に促す。
瀬戸山	臨床実習	・実習依頼がスムーズに行えたか。 ・必要な実習施設の確保ができたか。 ・回答結果、承諾書の集計と管理ができたか。 ・実習施設からの申請書、契約書の管理ができたか。 ・回答結果に対する公文書の送付がスムーズに行えたか。	2	・COVID-19の影響により、2021年度の4年次実習期間を検討したため、実習依頼時期が例年に比して遅くなった。 ・2021年度4年次臨床実習については、概ね必要数を確保できた。	・2022年度の実習地確保状況や厚労省への施設登録申請については、タイムスケジュールを確認し、業務にもれがないように留意する。 ・4月末に送付予定の2022年度臨床実習依頼文書発送作業を滞りなく実施できるようにする。
		・実習開始までに、厚労省への申請手続きが終了できたか。	4	・理学療法学科10件、作業療法学科6件の計16件について、厚労省へ新規実習施設申請を実施した。	・継続していく。 ・指定規則改定にともない、新規実習施設申請用紙が一部改変されたため、注意する。
		・円滑な実習を実施できるような、指導者会議を企画・実施し、出席者数の増加や臨床教育の向上につながったか。	3	・2020年度3年次臨床実習は中止したため、指導者会議は中止した。4年次臨床実習については、オンラインにて開催し、PT学科28施設、31名、OT学科20施設、20名が参加。(その後、実習は中止。)	・2021年度4年次臨床実習指導者会議は、2021年4月24日(土)Zoomにて実施予定である。3年次臨床実習指導者会議は、2021年6月26日(土)実施を予定している。
水島	情報公開	・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3	・希望受験者・保護者には、授業を公開している。 ・カリキュラム一覧表並びに授業風景、国家試験の合格率、就職率について本校HPおよびパンフレットにて公開している。 ・「教育課程編成委員会」及び「学校関係者評価委員会」の議事録をHP上に公開している。 ・授業アンケートの結果については、各科目担当者が学生にフィードバックを直接行うのみで、まだ公開はしていない。	・授業アンケート結果及び対応などの公開を検討する。 ・COVID-19対策でのオンライン授業実施にあたって、シラバスに合わせた授業設計の公開を検討する。

4. 教育成果

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等	
田中	資格	・学生全員に障がい者スポーツ指導員が認定されたか。	4	・2020年度障がい者スポーツ指導者資格取得認定校の手続きを実施した。OT学科は初級、PT学科は中級の認定校となった。 ・4年生全員の障がい者スポーツ指導員の認定手続きを実施した。 ・感染拡大の影響で、障がい者スポーツ大会が中止されている。状況に合わせた対応を行った。	・障がい者スポーツ大会が年度末に移行したため、それに向けてサポート実習のとりまとめを行う。 ・PT1・2年生は障がい者スポーツ指導員中級取得にむけカリキュラム編成とサポートを行う。
	卒業研究	・卒業研究発表会において、研究の成果を質の高い形で発表できたか。 ・卒業研究発表会において、円滑な会の運営ができたか。	4	・COVID-19感染拡大の影響で、PT学科では例年のような実験研究の取り組みを行わず、文献的研究に変更して進めた。 ・OT学科についても、文献的研究、一部調査研究とし取り組みを進めた。新4年生8名については、進捗状況が悪く、次年度継続して取り組む。	・2021年度の卒研究発表会は、11/12に予定している。
島田	国家試験	・国家試験における問題解説および分析を行い、国家試験についての対策(学生オリエンテーション、特別講義など)を図る。	4	第56回 国家試験結果 PT学科 78名(既卒2名含む)/合格者73名/合格率 93.4%(全国 79.0%) OT学科 41名(既卒2名含む)/合格者36名/合格率 87.8%(全国 81.3%) ・スマートフォンを利用した国家試験対策教材に、第55回の問題を加え9月より使用可能とした。 ・COVID-19の影響で、登校の制限があるなか、オンラインを使用した実力テストの実施、個別指導および特別授業を行った。また、特別授業は、講義資料・動画を作成し繰り返し学習できるように保存した。 ・2021年度4年生に対し、PTは3月に国家試験の傾向と対策についてのオリエンテーションを行い学生の国家試験勉強の意識を高めた。OTは1期学内実習が終了後、実施予定。	・業者による国家試験対策教材を新しい業者に変更する。 ・動画の教材を作成し、学生が復習できるようにシステムの構築を行う。 ・国試対策を4年生のみに実施するのではなく、1~3年生から系統立てて実施する。 ・特別授業の時期と内容の検討を行う。
	卒業試験	・卒業試験において、趣旨に沿った選考基準が策定できたか。卒業判定が適正かつ公正に実施できたか。	4	・試験問題は、2020年度国家試験の出題分野を参考に各教員が作成した。 ・卒業試験問題の校正作業には、複数の教員が関わり、問題の精査を行った。さらに試験後は学生から問題に対する意見を収集し、問題が適切かどうか検討した。 ・卒業判定は例年と同様の基準にて実施し、適正かつ公正に実施した。	・卒業試験問題については、出題分野や難易度の設定について再検討を行う。
	卒業試験	・卒業試験・実力試験において、趣旨や時期に沿った試験問題を選考・実施できたか。学生の国家試験勉強進捗の指標になったか。	4	・2020年度も業者模試を含め、年間13回の実力試験を実施する計画を立て、新型コロナウイルス対応でオンラインでの実施や日程変更も行ったが、トラブルもなく実施できた。 ・実力試験結果は、分野別の正答率(平均点を含め)を提示し、学生個々の苦手分野への指導ツールとして利用できた。 ・実力テストは、2019年度の卒業試験とし、試験問題は学生に配布し復習の機会を与えた。	・卒業試験・実力試験施行方法については、COVID-19感染予防を随時検討しながら行う必要がある。 ・実力試験の結果の分析は継続する。また、試験結果を踏まえ、就職活動の停止の基準を検討する。 ・2020年度国家試験の合格率を踏まえ、問題の傾向分析と対策を検討する。

中村・水島	臨床実習	<p>・「実習の手引き」等の内容を充実させ、学生のスムーズな実習領域の実現に役立つものとなったか。</p>	3	<p>【理学療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次臨床実習(新カリ1W):バイタル測定の実技について、協会の臨床実習の手引き第6版のソーシャルスキル・ルーブリックを用いて学生を評価した。その他、3年生の総合演習の見学、卒業生の講演を聴講することで、今後についてのイメージを持たせるように仕掛けた。 ・2年次臨床実習Ⅰ(旧カリ1W):評価や介助技法の実施、卒業生や施設のセラピストからの講話や、患者様役の卒業生に対するコミュニケーション等について、チェックリストを用いた振り返りを実施した。 ・3年次臨床実習Ⅱ(旧カリ3W):オンラインを併用し、模擬症例に対する臨床的推論の実施、卒業生を中心とした臨床で働くセラピストを模擬患者とした総合演習を実施した。1年生同様ソーシャルスキル・ルーブリックを用いて学生を評価した。 ・4年次臨床実習:合格78名、未実施1名;臨床実習Ⅲ、Ⅳともに学内実習とした(前回報告済み)。 <p>【作業療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次見学実習:1日×6施設の見学実習は、6領域の特別講義(対面またはオンライン)、幼稚園実習の特別講義で振り替えた。41名修了。 ・2年次基礎実習:介助技法の習得は、授業・実技を学内で実施。介護老人保健施設等での1週間の実習も学内でのOSCEで振り替え実施。36名修了。 ・3年次臨床実習:対象学生31名。記録はMTDLP方式でのオンライン上で実施、学内でのOSCEは卒業生に対象症例の模擬患者役を演じてもらい対面にて実施。1名追加学内実習を実施、全員修了。 ・4年次臨床実習:対象学生39名。臨床実習Ⅲ・Ⅳは学外実習。卒業生も交えたオンライン症例発表会を実施した。 ・生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進強化校として申請した。 	<p>【理学療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会が作成した「臨床実習の手引 第6版」を基に作成した本校の実習の手引きを基に、実習の標準化を進める。 ・次回カリキュラム改定で制度化される可能性の高い実習前後のOSCEの準備として、3年次総合演習、セミナーの授業の体系化を進める。 <p>【作業療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍で学内実習となったが、生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進強化校として、オンラインなどを活用して全学生や全臨床実習施設においてMTDLPを活用できるように臨床実習を組み立てる。 ・OT協会が作成する「臨床実習の手引」改訂版を基に、新カリキュラムにも対応(作業療法参加型実習)できる実習の手引の見直しを行い、臨床実習におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)化をすすめていく。
		<p>・臨床実習後の症例発表とグループディスカッションを通して、実習の振り返りや理学療法士・作業療法士としての今後の課題を学生自ら明確にしたか。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートやルーブリックなどによる振り返りや、参加した卒業生からのフィードバックにより自らの課題を明確にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の臨床実習形態に即して対応する。
	留年・退学者防止	<p>・退学率の目標を設定しているか。またその成果は十分か。</p> <p>・退学率の低減策が教職員に共有されているか。</p> <p>・留年・退学結果について検証・報告を行ったか。</p>	4	<p>【理学療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生(23期生)の再試の平均数は1.72と昨年度(22期生)1.49よりも微増した。前期の2.0に対し後期1.43と減少しており、オンラインから対面授業割合の増加も加味し、学習の精度は向上したと考える。 ・2年生(22期生)の再試の平均数は1.24と昨年度(21期生)1.05に比べ微増した。前期1.35から後期は1.13とわずかであるが改善していた。 ・3年生(21期生)は再試数は0.48と昨年度(20期生)の1.16に対し著減したものの、この学年では珍しく再試験再評価の学生が1名いた。再評価は合格したものの、国試対策では一部成績不良者に対する仕掛けが必要な学年である。 <p>【作業療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期強化組は1年11名、2年3名、3年4名で実施。 ・強化組対象者の前年度からの総合点による偏差値比較では、1年平均49.65(比較なし)、2年40.40(前年度平均39.60で+0.80)、3年41.28(前年度平均36.02で+5.26)で、2・3年共にプラスの効果があった。強化組で総合点偏差値35以下の者は、1年1名、2年1名、3年1名であった。 ・後期強化組は1年5名、2年8名で実施した。 ・後期での総合点による偏差値比較では、1年5名平均31.38(前期平均32.65で-1.27)、2年7名(退学者1名除く)平均42.29(前期平均33.85で+8.44)で2年次でプラスの効果があった。個別には、強化組対象で後期偏差値が前期偏差値を下回った1年2名、2年2名は要注意である。強化組で総合点偏差値35以下の者は、1年1名は退学、2年1名であった。 	<p>【理学療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力低下者に対する強化組対策を継続する。 ・昨年度から開始した解剖・生理について、上位学年(3年生)からの下位学年(1・2年生)への指導する学習会について活性化させ、その精度を向上させる。 <p>【作業療法学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化組対策を本年度も継続する。新型コロナウイルス対策で対面型の実施には制限があるため、オンラインでの対応も踏まえたハイブリッドな対応も継続して実施していく。
卒業生	<p>・卒業生の社会的活躍や評価を把握しているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各関連学会、学会誌等で卒業生の動向を把握し、学校説明会において紹介した。 ・概論の授業では、障がい者スポーツに関して実技も交え講演を依頼している。 ・卒業生参加の授業に関して、今年度は感染対策を徹底しながら行っている。 ・オンラインのメリットを生かし、卒業生に各種講演やアドバイザーを依頼している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続 	

5. 学生支援

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等	
田中	社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や服装、遅刻など基本的な生活習慣の確立、社会性・公共性を育む指導・支援ができたか。 ・様々な教育活動において、社会人・医療人としての精神の育成に向けた支援ができたか。 ・学習状況実態調査で学生全体の生活習慣や学習環境を把握できたか。 ・実習で指摘された社会性(情意面)についてまとめ、その結果を支援に生かすことができたか。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業が増加した後期には、対面での担任との面談や教科担当からの指導を行った。 ・学習状況実態調査(後期分)の結果について、学生の心理状況、専門職就業に向けたモチベーション等について報告を受け、理解を深めた。 ・全学年で学内実習となったが、外部からPT・OTに参加いただき、それぞれの学年の実習課題に合わせた指導を受けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は主に対面授業であるため、基本的な生活習慣や社会性・公共性をはぐくむ指導に取り組む。 ・学習状況実態調査(前期分)の結果を確認し、学生の心理状況、専門職就業に向けたモチベーション等について理解を深める。
机	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭などの活動において学生が主体的に活動し、リーダーシップやコミュニケーション能力などの育成に向けた支援ができたか。 ・学校行事の充実に向けた支援ができたか。また、参加率が90%以上に到達したか。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎学園全体で3月初旬にICON(旧教育成果発表会)がオンラインで開催された。学校代表として出場した学生の支援を行い、学生個々の成長や充実した発表に繋げることができた。校内参加率は90.2%であった。 ・学園祭においては実行委員は積極的に取り組み、みんなを楽しませたいとの気持ちで動いてくれたが、その他の在校生は参加はしても十分に楽しめなかったとの意見がある。学生主体である行事であるため、実行委員と在校生とのつなぎ合わせについて次年度の課題として検討したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き一部の行事はオンラインで行われる可能性があるため、オンラインの中でも学生が主体的に取り組み、参加者の満足度が得られるような内容・方法を検討していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・効率よく行事が運営できるよう、全体の年間予定表・各行事のマニュアルの再調整を行い、業務の連携及び効率化を図れたか。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式については、COVID-19感染拡大状況下での開催に加え、新しいイベント業者が介入することが直前に決まったため、例年と異なる動きが求められた。変更が繰り返されたため効率は例年よりも悪かったが、新しい企画を盛り込んだ内容で無事に開催することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎学園全体でのイベントについては新しい方向性を模索している段階であり、内容や職員の関わり方も今後数年で大きく変わることが予測される。学内担当者が本部の流れや意向を把握し、新しいスタイルでの運営をスムーズに進められるようにしていく。また業務分担についても負担が増えている部分があり、見直しまたは方法論の検討が必要である。
水島	個別指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の情報交換を定期的に行い、心身の健康問題への適切な対応ができたか。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談をオンラインも併用しながら実施している。各学科会議でも情報を共有し対応策を検討する中で、必要に応じてはスクールカウンセラーの利用を促すなど心身の健康問題等への適切な対応を行った。 ・週1回学科会議および問題発生時適宜学生に関する情報交換を行っている。 	・特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ・学生の面接・面談の記録があるか。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生カルテを作成し、学生のプロフィール・緊急連絡先及び面接の記録、臨床実習の記録を保管している。 	・特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ・就職・進路について相談できる担当者がいるか。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、国試担当教員、就職指導職員が対応にあたった。 	・特になし
	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康診断を定期的に行っているか。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施(2020年度は9/1、11/5に実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は4/1に実施した。

宮野	・防犯	・犯罪・薬物・消費トラブル等の指導を行っているか。	4	・4/1新入生オリエンテーション時に資料配布。詐欺・犯罪への注意喚起を実施した。	・特になし
	就職支援	・就職指導支援体制整備 ・就職内定率目標(年内60%・年度内100%)の達成 ・学生の就職希望データベース化 ・既卒者対象求人情報データベース化	3	・年内(12/31)内定率 PT:83.1% OT:76.7% ・年度内(2021/3/31)内定率 PT:97.1% OT:97.1% 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実習が中止となり、早期から就職活動を行ったため年内内定率は目標を大きく上回ることが出来た。しかし、国家試験合格発表後に活動を開始する学生の一部が内定に至れず、年度内の目標達成には届かなかった。残る3名においては4月中旬に選考日が決まっている者もあり、鋭意活動中である。	・学生個人の国家試験対策状況を鑑みながら内定率年内60%、年度内100%を目指す。
	災害対策	・災害対策マニュアルを整備し、災害発生時の指導を行っているか。 ・万が一に備え、保険加入しているか。	4	・戸塚消防署の協力にて避難訓練ならびに教職員に対する通報訓練実施。 ・災害時用食料、防寒具を備蓄・更新。 ・「東戸塚駅周辺混乱防止対策連絡協議会」設置にかかわる連絡会に参加。 ・通学時・学内外の実習においての賠償責任保険に加入している。	・特になし
	経済援助	・奨学金等の経済的支援があるか。 ・学費減免、学費分納制度があるか。	3	・日本学生支援機構奨学金に対応、岩崎学園奨学金を整備。 ・岩崎ともみ奨学財団指定校(給付型奨学金) ・入学時および定期試験にて特待生選抜を行い、学費等の減免を行っている。 ・学費分割納入を制度として実施。 ・高等教育修学支援新制度(2020年～)対象機関として認定 ・COVID-19感染症対策による経済的支援情報を随時提供。	・2020年度よりスタートした高等教育修学支援新制度について、数名の申請漏れがあった。 ・引き続き制度についての対象基準の周知を行っていく。
	活動援助	・保護者への情報提供は行われているか。	4	・保護者への便り(成績、出欠状況等)を前期・後期期末時に送付。 ・保護者向け情報公開ページをHP内に設置。 ・COVID-19感染状況に応じた保護者への案内を1ヶ月ごとに配信した。	・特になし
		・同窓会はあるか。 ・卒業生へ学校情報を提供しているか。	4	・2020年度はCOVID-19感染症拡大防止のため中止とした。	・特になし
		・クラブ活動を支援しているか。	4	・フットサル・ボランティア・バスケットボール・野球・陶芸・バレーボール・バドミントン・テニス・チャアリーディング等の活動を顧問、補助金で支援している。 ・サークルで活用するロッカーも必要に応じて割り当てて使用できるようにしている。 ・2020年度はCOVID-19感染拡大防止のため、体育大会は中止。 ・校内の活動についても感染対策を優先している。	・特になし

6. 教育環境

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等
宮野	・教室の数・広さ、実習室の数・広さは教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	・実習室の数、広さについては養成校設置基準に準拠している	・特になし
	・教室以外に休憩スペースが適切に置かれているか。 ・食堂や運動施設など教育環境を補完する施設が整備されているか。	4	・地下一階に学生ホール完備。各フロアに休憩スペース完備。 ・体育館、箱根研修所、岩崎ミュージアム(コンサートホール)所有。	・特になし
	校舎全体およびAV機器等の経年劣化に随時対応する。	4	・校舎、設備は定期点検し、必要に応じて修理・刷新を実施。 ・本年度は大規模修繕工事を実施。10月に完了し、雨漏りや外壁の劣化に対応。 ・3月にエアコン・室外機入れ替え工事実施。	・特になし
	・自宅学習を奨励するための設備を提供しているか。	4	・全学生ノートPC(ソフト)貸与し、導入時に最新の環境を提供している。 ・スマートフォンを利用した国家試験対策教材を使用 ・解剖生理学デジタル教材としてVisible Body(3D人体解剖学習リソース)を使用。 ・岩崎学園共通LMS(スタログ)を導入し、オンライン学習の円滑な実施環境を整える。	・今後もWithコロナ時代の学習環境を整備していく
武田	・図書室利用者数の増加ができたか。 ・蔵書を増加したか。 ・図書室を整理し使用しやすい環境設定ができたか。	3	・図書室活用を図るために、新規蔵書について周知を行い、図書室活用を促した。 ・図書室保管蔵書の整理、在庫確認を実施した。開校以来保管している古い蔵書など一部破棄をおこなった。	・図書活用を推進するために、新規購入蔵書について周知を行い、蔵書利用者の増加を図る。 ・古くなった蔵書の破棄を行い、図書の登録を更新する。更新した情報で学生が検索できる形にする。 ・引き続き図書室保管蔵書の整理、在庫確認を実施する。 ・年末には新規蔵書について教員・学生から希望をとる。
	・WEB利用者数は増加したか。 ・メディカルオンラインの利用者数は増加したか。また、適正に利用できたか。	3	・メディカルオンラインの利用については、概ね、適正に利用された。ダウンロードに関する注意喚起を継続した。	・メディカルオンラインの利用については、引き続き適正利用と利用者増加を促す。 ・他の論文検索システムを検討を継続する。
	・最新機能を備えた機器、実習室などは整備されているか。	3	・「養成校備品・設備施設基準」に基づいて保有点検をした。各実習室の機器、備品の整備を実施した。	・学生教育に必要な教材を継続して購入していく。 ・経年劣化した機材を更新していく。 ・202教室のエルゴメーターが経年劣化の為、交換を行う。 ・感染予防対策から、全校生徒に一つずつリットマンの聴診器を購入する。
・各種マニュアル作り、破損・危険箇所への安全対策や備品の修理・新規購入が迅速に行われたか。	3	・教務室内、倉庫内(2階、3階)を中心に物品の点検・整理を実施。不足品、欠品については、修理・補充を行った。20期生の卒業記念品として、空気清浄機が1~2年生のHRIに寄贈された。	・備品の不足、破損に迅速に対応する。経年劣化した機材を更新していく。	

7. 学生募集

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等
	・学生募集計画があるか。また成果は十分か。	4	・2021年度生はすべての入試を終え、定員の充足を達成した。	・特になし
	・入学案内書には以下の内容が明示されているか。 育成人材像、目指す資格・検定試験、学費・教材費、入学者選抜方法	4	・「入学案内書」「学生募集要項」に明示。	・特になし
	・入学に関する問い合わせに適切に対応できる体制ができているか。	4	・入試事務局が対応。 フリーアクセス0800-800-4508 infoyocr@iwasaki.ac.jp ・希望に応じて個別相談実施。 ・2020年度はオンラインによる個別相談を充実させた。	・特になし

宮野	学生募集	・学校説明会等において入学情報を提供できているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 「学校説明会」年間6回開催。 学校紹介・各学科紹介・教員紹介・職業講話・入学説明・校舎案内を実施。 「進学説明会」年間1回開催。 保護者向け、高校既卒者向け等、状況に合わせた説明会を実施した。 入試面接対策講話・入試情報・分析、個別相談を実施。 2020年度はCOVID-19感染症拡大防止のため、オンライン開催、及び感染対策を徹底し、人数を制限した来校型説明会を同時に開催した。 	・引き続き感染対策を徹底した説明会を実施する。
		・体験授業等で入学後の自分をイメージできるイベントを開催しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 「体験授業」を定期的に開催。 病院見学実施(2020年度はCOVID-19感染拡大により未実施) 短時間で校舎見学と体験が可能なオープンキャンパスを実施 感染対策を徹底し、少人数での開催を実施する。 	・引き続き感染対策を徹底した説明会を実施する。
		・入学辞退者の授業料返還が適切に処理されているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 手続きについては「学生募集要項」記載。 2021年度生の入金後辞退者は0名であった。 	・特になし
		・入学予定者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度は例年実施している来校型のプレップゼミは中止し、オンラインでの開催となった。 新生にとっては初めて学習することになる運動学に触れ、内容の難しさ、学習習慣の重要性を実感してもらう機会とした。 また、オンラインで在校生にグループワークに参加してもらい、交流の中で入学後の学生生活をイメージする機会となった。 入学ガイダンス、オリエンテーションを実施(4/1)し、学生生活、授業内容、学習方法などを指導した。 	・特になし

8. 社会貢献

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等	
宮野	地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 職能団体の技能研修会等開催のため、実習教室が活用予定であったが、COVID-19感染拡大により未活用。 高校等からの依頼による出張授業に参加した。 	・ソフトとしての人的資源とハードとしての施設等の資源の活用を引き続き図っていく。
		・学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 学外者と学生との事故も想定し、安全確保を図りながら、学校休業日に教室・体育館を貸し出し予定であったが、COVID-19感染拡大により未活用。 地域の老人クラブイベントに施設を提供している。(2020年度は中止) 後述の「つなぐカフェ」にて玄関ロビーを開放している。(2020年度は中止) 	・学校施設の利用については、新型コロナウイルス感染状況に応じて、地域の社会資源として活用を検討する。
		・ボランティアなどの社会活動に参加しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 「介護デジタルハッカソンin横浜2019」オンライン審査結果発表会;7/12(日)作業療法学科3年4名(らっくる(車椅子マップ)紹介・4年14名が参加。新ハッカーソンで2班優勝(40T3名在籍) 3年生有志主催「オンライン1年生歓迎イベント」を7/11(土)に実施。1年生はPT30名、OT7名が参加、3年生はPT10名、OT2名が参加した。 岩崎学園アイデアソン8/1(土);作業療法学科2年3名、3年2名参加 つなぐカフェFM横浜8/11(金);作業療法学生4年5名参加。 つなぐカフェのパンフ配布(250部);戸塚区福祉保健センター10/24(土) 神奈川県高齢福祉課とつなぐカフェコラボ;タブレットでのオンライン実施に向けての準備中。 つなぐカフェ健康体操YouTube配信(一般向け) 「介護デジタルハッカソンin横浜2020」;12/14(月)説明会に3OT参加。3年7名が3/28(日)「ICTを活用した新しいつなぐリフォーラム」中間発表。 3/5開催のICON;「らっくる」にて、岩崎学園情報校とリハ校(30T4名)のコラボチームが優勝。 	・本年度はCOVID-19対策のため、各種イベントが縮小・中止となる予測であるが、学生の安全・安心を担保し、可能な限り参加する。
		・地域に対する公開講座などを主催しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民対象の認知症予防を目的とした「つなぐカフェ」はCOVID-19対策のため、対面での実施は中止となっている。タブレット端末などを利用しての学生主催の健康体操をオンライン実施した。 	・神奈川県高齢福祉課などと連携し、タブレット端末などを利用してのオンライン実施開催に向けて継続して実施していく。

9. 法令等の遵守

担当	評価項目	令和2年度後期評価	2020(令和2年)年度後期達成状況	令和3年度前期に取り組むべき課題等	
瀬古	法令遵守	・法令や専修学校設置基準を遵守しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 所管の神奈川県へ学則変更等届出実施、現況調査(学生数・教職員数・卒業状況等)実施した。 	・特に問題なし
		・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程を文書化。「学生募集要項」記載。 	・在宅勤務による情報管理を徹底する
		・自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価は、学校運営の一部(授業アンケート、保護者アンケート、教職員の自己評価等)となっている。平成24年度より「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、本形式にて実施している。 授業アンケートをGoogleFormsにて実施、各授業の見直しを行っている。 	・PDCAサイクルの徹底に努める
		・理学療法教育施設評価(第三者評価)受審対策に向けた情報収集を行えたか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 2022年3月までに教育評価機構の受審予定である。しかし、教育評価機構の事務局の機能が停止状態であり、連絡がスムーズに取れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 2017年4月1日～2022年3月31日までWFOT並びにリハビリテーション教育評価機構による認定が有効となっている。 2021年度に再受審予定であり、準備を進めていく。
		・自己評価結果を公開しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 公開中 	・引き続き公開していく